

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：みなみがわら保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：車田真紀	定員（利用人数）： 185人（利用者：177名）
所在地：〒212-0007 川崎市幸区河原町1-77	
TEL：044-396-3171	ホームページ： <a href="https://primekids.or.jp/minamigawara/">https://primekids.or.jp/minamigawara/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 ぷらいむキッズ	
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員：16名
専門職員	(専門職の名称) 名
	園長：1名 栄養士：2名
	主任：1名 看護師：1名
	保育士：29名 調理員：2名
	保育補助：2名 子育て支援員：1名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	保育室：7室 相談室：1室
	トイレ：3ヶ所 多目的室：1室
	調理室：1ヶ所 職員休憩室：1室
	事務室：1室 書庫：1ヶ所
	ホール：1ヶ所 園庭：有

③理念・基本方針

【理念】

「児童福祉法に基づき、より良い環境のもと、一人ひとりにたくさんの愛情を注ぎ健やかで心豊かな子どもたちを育てる。」

環境が子どもたちを育むという考えから、子どもたちの育ちにふさわしい「より良い環境」を整備しその改善に取り組みます。子どもたちは様々な家庭環境に置かれていますが、保育園では「ひとりがたくさんの愛情を受け」、子どもたちが愛されているという実感、できるという気持ち、人を信頼する気持ちの基礎を育てます。また、体をよく動かし、友達とたくさん遊ぶなかから「健やかで心豊かな」子どもを育てます。

【保育方針】

「遊びは学び」という考えにたって、年齢を問わず友達とのかかわりの場を設け嬉しいこと、楽しいこと、悲しいことや悔しいことをたくさん経験できるようにします。一人ひとりの個性を大切にしながら、長所を伸ばします。自然遊び、運動遊びを重視して、子どもを主体とした保育内容を計画し、子供の成長を促しています。

【保育目標】

「よく食べ よく眠り よく遊び あいさつのできる子ども」

- ・自分で考え行動する子ども
- ・自然の中で思い切り遊び、健やかに育つ子ども
- ・思いやりがあり周りの人や自分を大切にできる子ども

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

・公立の南河原保育園から民営化をし2020年に開園をしました。当園は河原町団地の中にありますが、広々とした園庭や自然がたくさんあり子ども達の発達を考えて作成した築山では体の使い方を学びながら遊びを展開する姿が見られたり、芝生の部分ではお家ごっこや寝転がって日向ぼっこをする等、園庭でのびのびと遊ぶ姿があります。四季を感じることができる裏庭には様々な木々や実のなる木や花があります。たくさんの自然に触れることで、心を育んだり、みかんの木にいるアゲハの幼虫やダンゴムシを発見したり、ビオトープではメダカを育て、観察したりなど、生きものに触れることで、自然との関わりを深め、観察力や思いやりの気持ちなど育つ環境が多くあります。園庭や裏庭など自然が多くありますので、テーマを決めて毎月自然遊びを行っています。また、地域の特性を生かし河原町グラウンドや体育館を借りて運動遊びを行うことで地域の方との関わりを深めたり、園外での遊びも幅広く行っています。

・絵本の貸し出しも行っており、親子で絵本に触れることで愛着関係を深めたり、英語の絵本を置くことで様々な言語を持つ子ども達も楽しめるようにすることは感性や言語への興味を伸ばすことにもつながると考えています。

・毎月のクラスだより配信や限定YouTube配信で保育者の思いや子どもたちの様子を丁寧に伝えることで保育方針の理解や子どもたちの成長を実感していただけるように工夫を行っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年10月5日（契約日）～ 令和5年4月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)保育方針「遊びは学び」に沿った保育を展開しています

保育方針である「遊びは学び」という考えに立って、子どもが様々な経験をする中でどんな姿を見せるかをよく観察しています。そして、各クラスで子どもの姿の中から「遊びは学び」に相当するものを一つ選び出して園だよりに載せ、その姿が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のどれにつながるか保護者に伝えています。さらに、各保育室前に「遊びは学び」「保育マップ」と名付けた保育の記録を毎月掲示して、その姿のきっかけとなったエピソードや職員からのアプローチも紹介しています。

2)子どもが活動に夢中になれる環境を整備しています

室内は保育室のほか、制作や運動遊び、発表会ごっこに利用できる多目的スペースや「絵本の部屋」があり、保育室から出て一つの活動に集中できるようになっています。また、外には園庭やルーフテラス、バルコニーがあり、多くのクラスが同時に外で遊べる環境となっています。特に園庭は「園庭環境3か年計画」を策定し、畑や田

んぼ、砂場や築山、ピオトープを職員が整備しています。園庭にはそのほか、三輪車コーナーや「ないしょの庭」と名付けた自然豊かな小道もあり、様々な目的で遊ぶことができます。

#### 3)職員の育成に努め研修支援に優れています

職員一人ひとりの研修計画は、キャリアアップ研修を始めとして、ステージ別、職種別、テーマ別研修等の機会を確保し、本人の職務や必要とする知識・技術水準に応じた研修を実施し、資質の向上に取り組んでいます。研修受講後は学んだ内容を職員全員に周知すると共に、子どもを第一に考えた保育を実現するために、どのように取り組めば良いか、職員会議等で意見を出し合い、研修の成果を活かしています。研修等は勤務時間として受講を支援しており、職員の育成に努めています。

#### 4)職員参画のもとでの事業計画作成が期待されます

園の事業計画書、並びに事業計画作成の基礎となる前年度の事業報告書が作成されていません。職員の振り返りや自己評価の結果等をまとめて報告書を作成し、次年度の園の重点目標等を具体的に検討することが期待されます。新年度の事業計画は職員の参画や意見の集約、反映のもとで、数値目標や期末での達成基準を明確にして策定・実行されること、また、計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて把握されることが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審することにより、全職員で保育や運営を見直し、保育方針や理念などの再確認をすることができました。職員一人一人が自らの保育を振り返り、話し合いを重ねる機会になりました。課題に関して真々に受け止め、また新たに気づきを得ることができました。法人の理念や方針、事業計画なども保護者の方に情報発信をしていきたいと思えます。子どもたちや保護者の方、そして働く職員にとってもより良い環境作りと、保育の質の向上をグループ全体で努め、子どもたちのより良い育ちに繋がる保育の提供ができるように引き続き取り組みます。

地域に愛され、また子育て世帯の方たちの憩いの場となるように開かれた保育園作りを目指していきます。

今回の第三者評価受審に際し、保護者の皆様には調査にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり